

伸びなやむ工業出荷額

4788億9338万円て県下2位

昨年12月31日現在で、工業統計調査を実施しましたが、このほど県下の調査結果が発表されました。

昨年は、前年の国際通貨危機の收拾によつて、経済をとりまく不安定な要因は一応のぞかれました。これに加え、公共投資の効果も現われ、金融緩和のもとで国内景気も回復してきました。

このような経済動向のなかで、県下の工業製品出荷額は前年に比べ12%増える3兆4265億円となりました。しかし、伸び率は41年以降では低く、46年の10.9%をやや上回ったにすぎませんでした。

富士市においてもやや伸びなやみが見

られ、4788億9338万円と前年の4568億360万円より、わずか4.8%伸びたにすぎませんでした。

輸送機械が大幅に伸びる

出荷額を産業別構成比で見るとパルプ・紙が依然として多く1909億8990万円で40%を占めています。これに対し、他の産業の占める割合は、輸送機械が大きく伸び977億6576万円で20.4%（昭和46年71億6125万円、16.7%）を占め第2位と

なりました。しかし、前回大幅な伸び率をしめした化学工業は、670億2529万円の14%（954億9471万円、20.9%）と減少しました。このほか、電気機械は537億2477万円の11.2%、一般機械は254億1014万円の5.3%、食料品は115億4999万円で2.4%などとなっています。

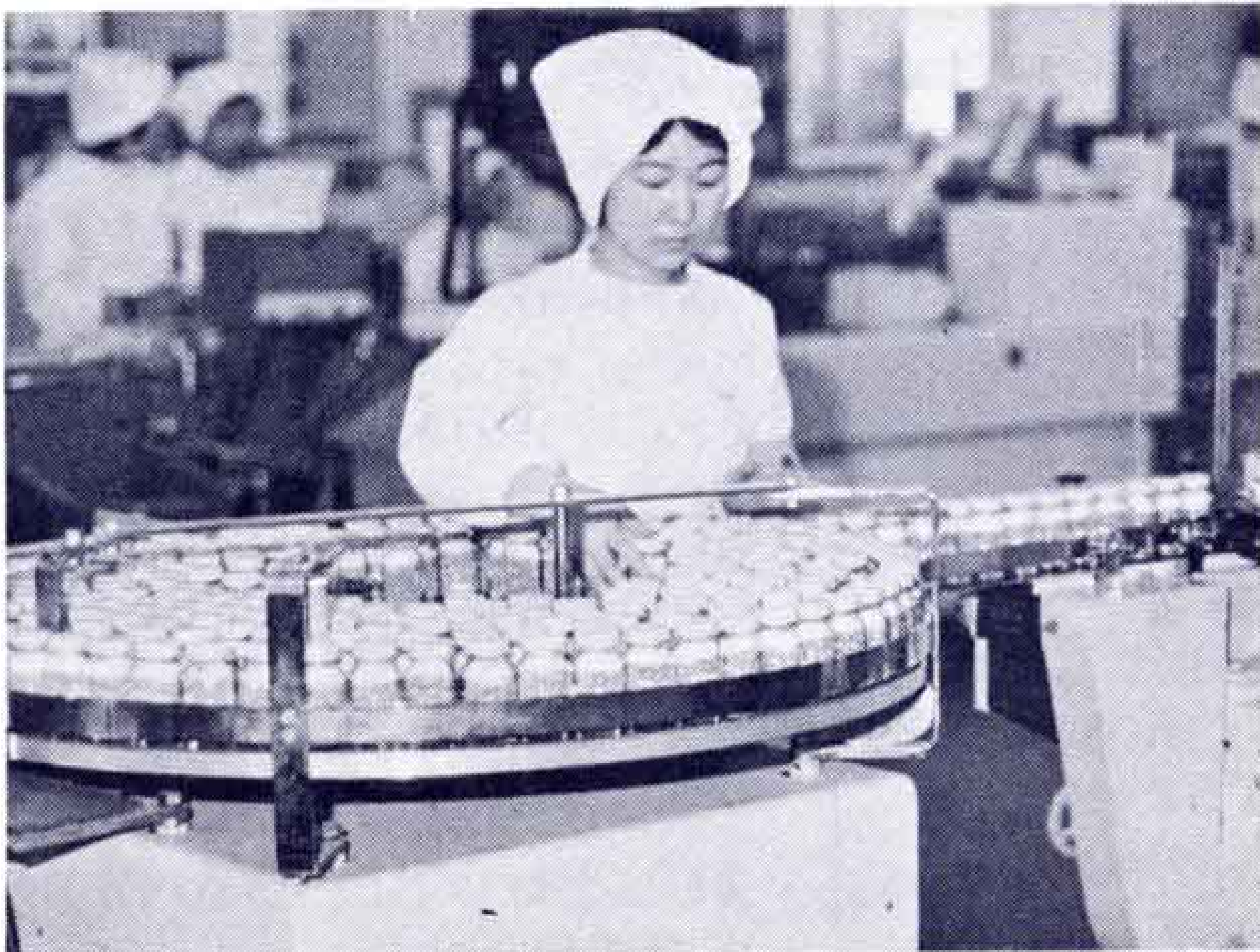
なお、輸送機械や化学工業など重化学工業の占める割合は53.5%とパルプ・紙や食料品など軽工業を上回り、産業構造に大きな変化がみられています。

事業所数は1307事業所で前年より139事業所増加しました。産業別ではパルプ・紙352事業所が367に、一般機械200事業所が224に、金属製品108事業所が139に、輸送機械46事業所が62に、電気機械35事業所が47になりました。

従業者数は、4万6823人で前年より1294人増加しました。しかし、昭和44年以後、年ごとに増加率は減少しています。産業別では、紙・パルプが2万8276人、輸送機械8658人、電気機械4502人、化学工業4182人、一般機械3991人などとなっています。前年に比べると重化学工業部門では全体的に伸びていますが、軽工業のパルプ・紙、衣服、繊維工業、木材・木製品は減少しました。

県下の出荷額上位5市

	47年出荷額	事業所数	従業者数
浜松市	5121億円	5047	82671
富士市	4788億円	1307	46823
清水市	3852億円	1393	38294
静岡市	2950億円	4357	47765
沼津市	2077億円	1717	30472
県総計	3兆4265億円	27985	476273



【化学工業の出荷額は伸びなやむ】

児童手当の所得制限などが引き上げられます

児童手当の所得制限の限度額や各種の控除額を、6月1日から引き上げました。

児童手当は、3人以上の児童を養っている保護者に、3番目の児童から1人につき義務教育が終るまで毎月3000円を支給します。

所得の限度額を引き上げ…

所得の多い人は児童手当を受けることができませんが、受けることのできる所得の限度額は、扶養親族1人の場合1,662,500円、2人が1,802,500円、3人が1,942,500円、4人が2,082,500円などです。なお、所得額は給与所得者においては給

与所得控除後の金額、営業所得者は営業所得が該当します。譲渡所得などがある場合は、いっしょに含まれます。

控除額の引き上げ…

児童手当の支給を受ける人の所得額を計算するにあたり、地方税法に規定する各種の控除額が引き上げられました。

控除の引き上げは障害者控除、か婦控除、勤労学生控除、老年者を受けた人は115,000円が120,000円に、障害者控除の中で特別障害者は155,000円が

160,000円になりました。

現況届を提出して…

昭和48年5月現在で、児童手当を受けている方は、児童手当現況届を提出していただきます。現況届の用紙や説明書などは、該当者に送りましたので6月30日までに福祉事務所児童課へ必ず提出してください。



【3人目のお子さんから児童手当を支給】